

令和4年度行政事業レビューシート (内閣官房)

事業名	孤独・孤立対策担当室経費			担当部局庁	内閣官房副長官補			作成責任者		
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	孤独・孤立対策担当室			参事官 石川 賢司	参事官 田村 真一	参事官 澤瀬 正明
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	孤独・孤立対策の重点計画(令和3年12月28日 孤独・孤立 対策推進会議決定)					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	政府の孤独・孤立対策においては、「孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会」、さらには「誰もが自己存在感・自己有用感を実感できるような社会」「相互に支え合い、人と人との「つながり」が生まれる社会」を目指して取り組む。									
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	我が国における孤独・孤立の実態を把握するとともに、支援情報が網羅されたホームページの運用、NPO等の連携等を進め、孤独・孤立の問題に立ち向かい、支援を必要とする方々により一層的確に届けられるよう取り組む。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	131	288			
		補正予算	-	-	21	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
		計	0	0	21	131	288			
	執行額		-	-	8					
	執行率 (%)		-	-	38%					
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		#DIV/0!	#DIV/0!	38%						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	庁費		92	274	重要政策推進枠:204 令和3年に策定した「孤独・孤立対策の重点計画(令和3年12月28日 孤独・孤立対策推進会議決定)」に基づく施策を着実に推進するため。					
	職員旅費		0.4	5						
	非常勤職員手当		9	4						
	委員等旅費		0.2	3						
	諸謝金		0.4	2						
	その他		29	0						
	計		131	288						
活動内容 (アクティビ ティ)	全国の16歳以上の個人を対象に2万人を無作為抽出して調査することにより、我が国における孤独・孤立の実態を概括的に把握し、各府省における関連行政諸施策の基礎資料を得る。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	孤独・孤立の実態の把握	調査の実施件数	活動実績	件	-	-	1	-	-	
			当初見込み	件	-	-	1	1	1	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/調査の実施件数			単位当たり コスト	千円	-	-	-	44,000	
				計算式	千円/件	-	-	-	44,000/1	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
								-	-	
				年度	年度					
調査結果を所定のスケジュールに基づき、遅滞なく公表する。	調査企画時に定めた公表スケジュールの達成率			成果実績	件	-	-	1	-	-
				目標値	件	-	-	1	-	-
				達成度	%	-	-	100	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	調査の公表実績									
活動内容(アクティビティ)	孤独・孤立の問題を抱える当事者や家族等へ孤独・孤立に関する支援の情報を網羅的かつタイムリーに届けられるよう、孤独・孤立に関する情報へのアクセスの向上を推進する。									
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	5年度	
								活動見込	活動見込	
孤独・孤立に関する情報へのアクセスの向上	閲覧者数			活動実績	万人	-	-	-	-	
				当初見込み	万人	-	-	-	10	11
単位当たりコスト	算出根拠		/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	ホームページ保守費 / 閲覧者数									
								単位当たりコスト	円	-
		計算式	円/人	-	-	-	12,861,178/100,000			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
								6	-	
								年度	年度	
ホームページを接続する自治体の数	ホームページ接続割合(接続自治体数/全自治体数)			成果実績	自治体数	-	-	-	-	
				目標値	自治体数	-	-	-	1,700	-
				達成度	%	-	-	-	-	-
活動内容(アクティビティ)	孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの会員を広く募り、会員となった各団体の活動を事務局等が訪問し、その活動や考え方を広く紹介することにより、NPO等関係団体の相互理解を深め、連携を強化する。									
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	5年度	
								活動見込	活動見込	
孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの会員を広く募る	プラットフォームの会員数			活動実績	団体数	-	-	205	-	
				当初見込み	団体数	-	-	200	1,000	1,200
単位当たりコスト	算出根拠		/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	孤独・孤立対策に資するNPO法人等の連携促進等に関する調査研究事業費 / 会員数									
								単位当たりコスト	円	-
		計算式	円/会員数	-	-	-	23,382,000 / 1000団体			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
								6	-	
								年度	年度	
意見を聴取したNPOの数	年間50程度のNPOから公式な場で意見を聴取し、その活動を紹介する(目標値は累積数)			成果実績	団体数	-	-	6	-	
				目標値	団体数	-	-	-	150	-
				達成度	%	-	-	-	-	-
活動内容(アクティビティ)	孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの会員を広く募り、多種多様な会員間で共通する課題に対する解決策等の検討に関する活動を行うことを目的とした分科会を開催することでNPO連携の場を多く設け、連携を強化する。									
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	5年度	
								活動見込	活動見込	
孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの会員を広く募る	プラットフォームの会員数			活動実績	会員数	-	-	205	-	
				当初見込み	会員数	-	-	100	1,000	1,200
単位当たりコスト	算出根拠		/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	孤独・孤立対策に資するNPO法人等の連携促進等に関する調査研究事業費 / 会員数									
								単位当たりコスト	円	-
		計算式	円/会員数	-	-	-	23,382,000 / 1000団体			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
								6	-	
								年度	年度	
NPO連携の場の開催数	毎年度1回以上の開催、解決策等の検討を行う(目標値は累積数)			成果実績	分科会数	-	-	0	-	
				目標値	分科会数	-	-	-	9	-
				達成度	%	-	-	-	-	-

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	政府一体となって孤独・孤立問題に取り組み、孤独・孤立に悩んでいる人、不安に思っている人に寄り添う支援を実施するための事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	政府一体となって孤独・孤立問題に取り組み、孤独・孤立に悩んでいる人、不安に思っている人に寄り添う支援を実施する必要があり、政府(内閣官房)が実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	孤独・孤立に悩んでいる人、不安に思っている人に寄り添う支援を実施するためには、孤独・孤立に係る実態を把握する全国調査、支援情報を出すホームページの運用、NPO法人等の連携支援業務は政策目的達成のために必要かつ適切な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札を基本とし、入札参加要件緩和に努めているところである。一部競争性のない随意契約となったものがあるが、機能上実施することとしたものなど、真にやむを得ないものである。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一部競争性のない随意契約以外は価格競争による競争入札により契約相手方を選定しており、妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	目的達成のための費目・使途が必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	一般競争入札の結果等によるものである。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	原則価格競争や総合評価による競争入札により契約相手方を選定している。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	実績値のとおり、概ね成果が出ている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みに見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	孤独・孤立対策に資するものとなっている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・孤独・孤立の実態の把握、NPO等の連携等実績値のとおり、成果が出ている。 ・また、予算執行は原則一般競争入札を行い競争性を確保して適正に行っている。 	
	改善の方向性	引き続き、孤独・孤立対策に沿った実効性の高い調査等を実施し、「孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会」、さらには「誰もが自己存在感・自己有用感を実感できるような社会」「相互に支え合い、人と人との「つながり」が生まれる社会」を目指して取り組む。	

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

推進チームの所見を踏まえ、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、効率的に執行した実績を概算要求に反映させる。

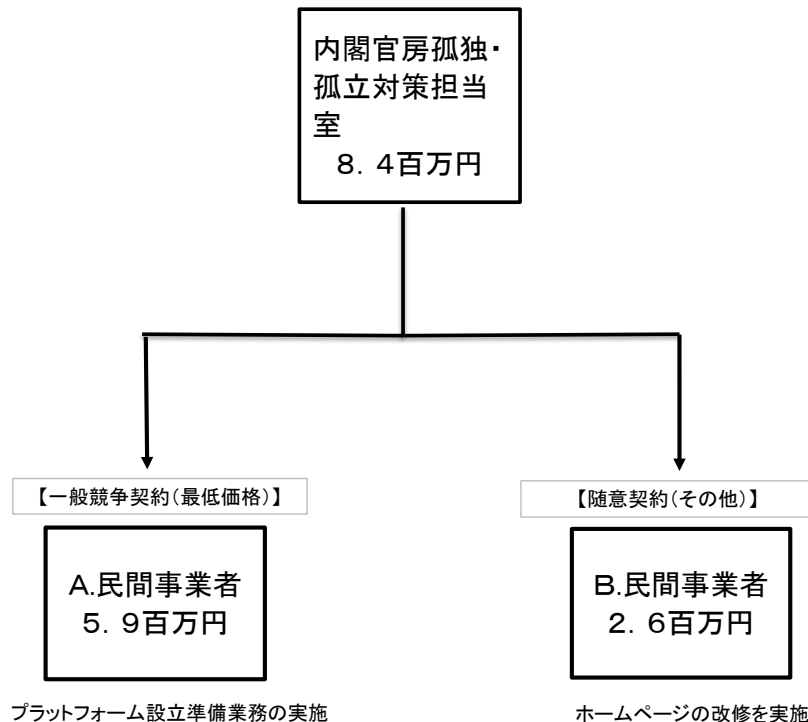
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度				
令和3年度	2021	官房	新22	0002

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



プラットフォーム設立準備業務の実施

ホームページの改修を実施

